

IP ガイアとコーネル大学が基本共同研究開発契約を発表

株式会社 IP ガイア (IPG) は、ワイル・コーネル医科大学カタール校 (Weill Cornell Medicine-QATAR: WCM-Q) と、新薬開発のための有望な標的探索についての協力を目的とした契約を締結しました。

IPG と米国ニューヨーク州イサカに本部を置くコーネル大学は、2023 年 10 月に基本共同研究開発契約を締結しました。ドーハを拠点とする WCM-Q は、ニューヨークのワイル・コーネル医科大学の一部であり、それ自体がコーネル大学の一部です。この基本契約は、WCM-Q で発見された有望な創薬標的リード化合物を IPG の創薬プラットフォームに取り込むための正式な枠組みを確立するものです。

この契約により、WCM-Q は創薬ターゲットを提案し、IPG はリード化合物やモダリティの同定・開発を行い、製薬企業への臨床開発候補化合物のライセンス供与を目指します。IPG は、革新的な医薬品を効率的に創出することを目指し、医療費の削減や医療アクセスの拡大など、グローバルな社会課題の解決に貢献したいと考えています。

IPG は、アンメット・メディカル・ニーズに直面している患者に届けるべき高品質な医薬品の開発を迅速に進めるため、世界のアカデミア、製薬企業などから有望な新薬の候補を募ります。これは IPG にとって、カリフォルニア大学サンディエゴ校とラホヤ免疫学研究所の2つの米国研究機関を含む、世界中のアカデミアとの8つ目の基本契約となります。IPG と WCM-Q の基本契約は、カタールを含む広い地域の人々に利益をもたらす可能性のある創薬シーズの取り込みを加速するための非常に重要な一歩です。

「今回の IPG との提携は、WCM-Q がイノベーションを推進し、治療開発の最前線を前進させるというコミットメントを示すものです。」と WCM-Q の研究・イノベーション・商業化担当シニア・アソシエイト学部長であるカレド・マチャカ博士は述べています。「WCM-Q が協力することで、医療を変革し、患者の転帰を改善し、地域と世界の健康に持続的な影響を与えることを目指しています。この契約は、WCM-Q のビジョンである、健康上の転帰を改善する医薬品に向けた創薬パイプラインの推進に合致するものです。」



「Weill Cornell Medicine Enterprise Innovation の主な目的のひとつは、画期的な研究を医学的進歩につなげるために、研究者を支援する重要なリソース、ツール、協力関係を特定し、調達することです。我々は IPG と協力し、WCM-Q の研究から生まれた新規の心臓代謝治療薬を開発するために、IPG の医薬品開発の専門知識と能力の恩恵を受けることを楽しみにしています」と Weill Cornell Medicine Enterprise Innovation の一部である Weill Cornell Medicine の技術ライセンスセンターのシニアマネージングディレクターであるリサ・プラチャニカ博士 (CLP) は、述べました。

[Weill Cornell Medicine Enterprise Innovation](#) は、商業化可能で、生命を変える医療イノベーションを特定し、育成し、提携することで、卓越した医療の未来を実現します。Enterprise Innovation は、Weill Cornell Medicine の発明家やイノベーターに、教育プログラム、指導、資産開発と成熟の支援、ギャップファンディングの機会、知的財産と事業開発/商業的アウトリーチ戦略の実行を提供し、初期段階の研究アイデアを患者に影響を与える製品に確実に変換します。

「世界で最も権威のある研究機関の一つであるコーネル大学とこのような契約を結ぶことができ、大変光栄に思います。」と IPG 社の代表取締役社長 CEO である山口泰範は述べました。

「これにより、IPG は有望な創薬シーズにアクセスし、革新性の高い医薬品を効率的に創出することが可能になります。その意味で、IPG は、医療費の高騰や健康寿命の延伸といった世界的な社会問題の解決に貢献していきます。」

[IPG について]

IPG は、株式会社ウィズ・パートナーズ (本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：松村淳) が運営するヘルスケア New プラットフォーム・ファンドの 100%子会社として、2021 年 10 月 26 日に設立されました。物質特許など新規医薬品の事業化において重要な知的財産の取得を目的とし研究開発を推進します。アクセリード株式会社 (以下「アクセリード」) 及び Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社 (以下「Axcelead DDP」) との包括的業務提携契約により、IPG はアクセリードおよび Axcelead DDP が持つ貴重な創薬研究データやノウハウを有望な研究シーズ・プロジェクトの選定に活かします。研究開発後、取得した知的財産は、製薬会社に対し、非臨床開発ステージにおける医薬品候補化合物取引市場において従来取引額と比較して大幅に低価格にて導入機会を提供できると想定しています。各社が協同で創薬プラットフォームの構築を進めることで、高品質・短期間・低コストでの新薬開発を可能とし、製薬会社は研究開発パイプラインの継続的な補充、且つ水平分業モデルを加速化出来るようになって、研究開発活動の効率化に大きなインパクトを与えると期待されます。その結果として、各国の医療費削減という社会的課題解決に貢献してい



きたいと考えています。

[Weill Cornell Medicine-Qatar について]

Weill Cornell Medicine-Qatar は、コーネル大学とカタール財団のパートナーシップです。コーネル大学とワイル・コーネル大学の教授陣、そしてワイル・コーネル大学から任命されたハマド・メディカル・コーポレーション (HMC)、アスペター整形外科・スポーツ医学病院、プライマリー・ヘルスケア・コーポレーション、フェト母性センター、シドラ・メディソンの医師による指導のもと、コーネル大学の医学博士号を取得するための包括的な 6 年間の医学プログラムを提供しています。生物医学研究プログラムを通じて、WCM-Q は基礎科学と臨床研究を推進しながら、カタールに持続可能な研究コミュニティを構築しています。WCM-Q は医科大学を通じて、医学生に可能な限り最高の教育を提供し、現在および将来の世代のために医療を改善し、カタールの人々に質の高い医療を提供することを目指しています。

連絡先

IP ガイア株式会社

contact@ip-g.com

コーネル大学

mwz9@cornell.edu